

にしじょうしゅうたけかわあみ

## 西上州竹皮編



### ■沿革・特徴

昭和9年、高崎市に滞在していたドイツの建築家ブルーノ・タウトの指導により当時下駄表の技法であった南部表の技術と竹皮という日本の素材を生かした新しい工芸品「竹皮編み」が誕生した。第二次世界大戦中及び昭和50年代の二回にわたり途絶えるが、昭和63年に前島氏が竹皮編を復活させ、製造している。※戦後、復興事業として高崎市を中心に約400人が製造に従事し、海外にも輸出されていた。

### ■主な製品

パン皿、盛かご、座面、茶道用具、コースター、ナベ敷、ブルーノ・タウト復元品、弁当かご

### ■製造者名

西上州竹皮編でんえもん  
(前島 美江)

### ■住所

〒370-3104  
高崎市箕郷町上芝922

### ■問い合わせ先

TEL 027-371-7471  
FAX 027-321-7020  
URL <http://denemon.web.fc2.com/>

かわばたけざいく

## 川場竹細工



### ■沿革・特徴

川場村では、古くから養蚕が行われており、竹細工のかご・ざる等は、明治時代から作業に欠かせない道具として活躍し需要も多かった。

特徴は、三本綱代による底編みや器の底の部分から編み始め、縁で仕上げることなどがあがる。

農作業の道具としての需要は衰退したが、竹細工の良さを分る人に愛用され、様々なアイデアで現代の生活の中に活用されている。

### ■主な製品

ざる(大・中)、うどん揚げ  
茶碗かご

### ■製造者名

田口 市太郎

### ■住所

〒378-0114  
利根郡川場村大字天神730-3

### ■問い合わせ先

TEL 0278-52-2763

きりゆうとうこうげい  
桐生籐工芸



■沿革・特徴

日本における籐工芸の起源は明らかではないが、藤原時代や源平時代の弓、足利時代の籠（えびら）などに使用された記録が残っていることから、1000年以上の歴史があると考えられる。

製造者である野村氏は、数多く存在する「編み・組み」の技法に関する研究を重ねるとともに、移りゆく時代や生活様式の変化などを柔軟に受け止め、新・旧様々な素材を生かし、先人たちが開発した文化を今に残し伝えている。

■主な製品

羽子板（高さ90cm 10,000円程度から）  
バッグ（12,000円～60,000円程度）  
籐丸（カラ―8色 500円程度から）  
花籠、灯り、アクセサリ、籐の花

■製造者名

ラタンアート工房 桐  
（野村 ナナ子）

■住所

〒376-0013  
桐生市広沢町 2-2978-3

■問い合わせ先

TEL 0277-52-0864  
FAX 0277-52-0864

■沿革・特徴

明治30年代から初代が近く of 山で採取したあけびの蔓を原材料としたあけび細工の製造を開始し、昭和40年頃からは、籐の蔓も混ぜ、編み上げている。

蔓は、伊香保温泉の湯に長時間浸けることにより、蔓に含まれているシブが温泉の鉄分に反応して染色され、いつまでも変わらない色彩が楽しめる。

また、籐やあけびなどの蔓は、とても丈夫であり、長く使用していると独特の艶が出てくるのが特徴である。

初代、2代目の作品は皇太子嘉仁親王（大正天皇）に、3代目の作品は皇太子明仁親王（今上天皇）に献上している。

■主な製品

ハンドバッグ、花器、おしほり入れ、帽子  
サイズは注文に応じます。

■製造者名

あけびや工芸店さまた

■住所

〒377-0102  
洪川市伊香保町伊香保 10-6

■問い合わせ先

TEL 0279-72-2111  
FAX 0279-72-2111

い か ほ ざい く  
伊香保つる細工

